

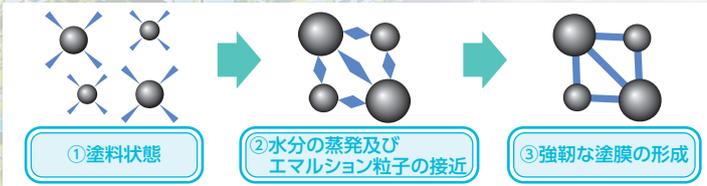
水性ベスコロSiつや消し

水性ベスコロSiつや消しは、住宅用化粧スレート瓦、セメント瓦塗替用の高耐候性つや消し塗料です。反応硬化形のアクリルシリコン樹脂を用いることで過酷な自然条件にさらされる屋根を長期間保護します。

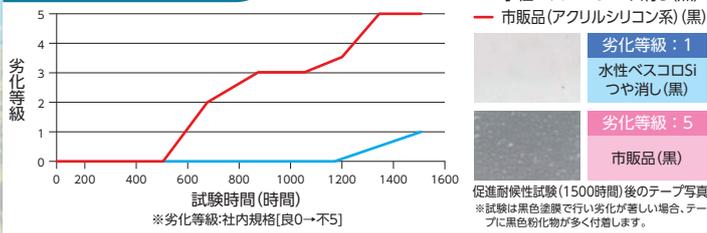
特長

●高耐候性

シロキサン結合による架橋反応塗膜は、耐水性、耐アルカリ性、耐紫外線性に優れます。



促進耐候性試験(デュパネル式)



●つや消しタイプ

太陽光を散乱するため、反射による眩しさがありません。さらに、落ち着いたシックなつや消し仕上げにより高級感を演出します。

●防かび・防藻性

環境に配慮した安全性に優れた独自のバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。

●速乾性

乾燥性に優れるため、工期短縮に貢献します。

適用素地

住宅用化粧スレート瓦、セメント瓦、アスファルトシングル材

容量

	商品名	容量	系統
上塗	水性ベスコロSiつや消し	15kg	水系
	水性ベスコロ下塗	14kg	水系
下塗	ベスコロフィラーHG	20kg	水系
	ワイドシーラーEPO	14kg	弱溶剤系
	カチプラエアレス	20kg	水系

色相



※上記色見本は印刷のため、実際の色とは多少異なります。

水性ベスコロSiつや消し塗装仕様

1.素地の劣化が軽微な場合

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●素地表面のぜい弱層、劣化している既存塗膜、ごみ、汚れなどを高圧水洗で除去する。(板と板の隙間は入念に清掃する。)					●素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。)
2 下塗り	水性ベスコロ下塗	100	0.07~0.17	1	2時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り・エアレス塗り
3 上塗り	水性ベスコロSiつや消し 清水	100 3~10	0.12~0.15	2	(工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り・エアレス塗り

●十分な高圧水洗ができない場合や素地の劣化が著しい場合、水性ベスコロ下塗の使用は避けてください。

2.厚膜仕上げの場合

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●素地表面のぜい弱層、劣化している既存塗膜、ごみ、汚れなどを高圧水洗で除去する。(板と板の隙間は入念に清掃する。)					●素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。)
2 下塗り	ベスコロフィラーHG 清水	100 0~10	0.20~0.50	1	16時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り・エアレス塗り
3 上塗り	水性ベスコロSiつや消し 清水	100 3~10	0.12~0.15	2	(工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り・エアレス塗り

3.素地の劣化が著しい場合

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●素地表面のぜい弱層、劣化している既存塗膜、ごみ、汚れなどを高圧水洗で除去する。(板と板の隙間は入念に清掃する。)					●素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。)
2 下塗り	ワイドシーラーEPO	100	0.10~0.17	1	3時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り・エアレス塗り
3 上塗り	水性ベスコロSiつや消し 清水	100 3~10	0.12~0.15	2	(工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り・エアレス塗り

●アスファルトシングル材

※2000年前後に製造されたノンアスベスト化粧スレート瓦には非常に脆弱な製品があり、剥離の原因となりますので塗装を避けてください。

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●素地表面のぜい弱層、劣化している既存塗膜、ごみ、汚れなどを高圧水洗で除去する。(板と板の隙間は入念に清掃する。)					●素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。)
2 下塗り	ベスコロフィラーHG 清水	100 0~10	0.20~0.50	1	16時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り・エアレス塗り
3 上塗り	水性ベスコロSiつや消し 清水	100 3~10	0.12~0.15	2	(工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り・エアレス塗り

●セメント瓦

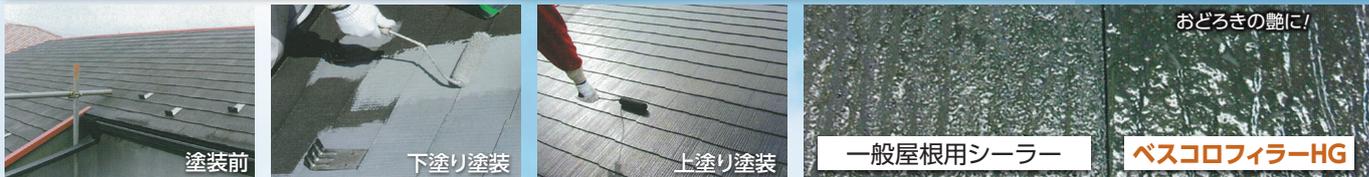
※アスファルトシングルなどが用いられた斜壁から直接雨水が壁面に流れる構造の場合、経年劣化塗膜が壁面を汚染する恐れがありますので、ご注意ください。

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	●素地表面のぜい弱層、劣化している既存塗膜、ごみ、汚れなどを高圧水洗で除去する。(板と板の隙間は入念に清掃する。)					●素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。)
2 下塗り	カチプラエアレス 清水	100 0~10	0.20~0.50	1	16時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り・エアレス塗り
3 上塗り	水性ベスコロSiつや消し 清水	100 3~10	0.12~0.15	2	(工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り・エアレス塗り

※下塗りには、ラフトンカチオンフィラーも適用可能です。

ベスコロファイラーHG / ベスコロファイラーCOOL

- ① 素地への付着性が良好……… 特殊カチオン系樹脂により付着性に優れたシーラーレスフィラーです。
- ② 素地の目止め効果……… 厚膜のため、肉痩せしたスレートを甦らせます。
- ③ 上塗りの光沢が良好……… 滑らかな肌を形成するため、上塗りの艶のりが良好です。
- ④ 優れた安全性……… 水系のため、引火や中毒の危険性がなく、臭いの少ない環境に優しい塗料です。
- ⑤ 優れた塗装作業性・仕上がり性……… ハケ塗り、ローラー塗り、エアレス塗りができ、ハケ目やローラー目が目立ちません。
- ⑥ ベスコロファイラーCOOLによる遮熱性能向上……… ベスコロファイラーCOOLの近赤外線反射機能により、上塗りの遮熱効果を更に向上させます。



適用素地	化粧スレート瓦・セメント瓦・アスファルトシングル材	
製品体系	商品名	容量
	ベスコロファイラーHG	20kg
	ベスコロファイラーCOOL	20kg

色相	ベスコロファイラーHG				ベスコロファイラーCOOL	
	白	グレー	黒	こげ茶	白(遮熱用)	

※ 上記色見本は印刷のため、実際の色とは多少異なります。

工程	塗料	割合(重量比)	標準塗付量(kg/m ²)	塗り回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●素地表面のぜい弱層、劣化している既存塗膜、ごみ、汚れなどを高圧水洗で除去する。(板と板の間隙は入念に清掃する。) ●素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。)					
2	下塗り	ベスコロファイラーHG又はベスコロファイラーCOOL 清水	100 0~10	0.20~0.50	1	16時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
3	1液弱溶剤系の場合	1液ワイドルーフセラシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.10~0.16	2	(工程内)16時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
		1液ワイドシリコン遮熱α 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工程内)16時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
	2液弱溶剤系の場合	ワイドエポレーシリーズ 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工程内)16時間以上7日以内 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
		ワイドエポレーフルシリーズ 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工程内)16時間以上7日以内 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
		ワイド遮熱αシリーズ 塗料用シンナー	100 0~20	0.12~0.16	2	(工程内)16時間以上7日以内 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
	1液水系の場合	水性ベスコロSiシリーズ 清水	100 3~10	0.12~0.15	2	(工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り

●アスファルトシングル材の塗布用下塗りとしても使用可能です。(劣化が著しく、補強繊維(ガラス繊維)が露出している場合は塗布不可です。ご了承ください。)
●アスファルトシングル材の塗布の場合、上塗りは「水性ベスコロSiつや消し」をご使用ください。(弱溶剤系塗料は使用できません。ご了承ください。)

水性ベスコロSiつや消し・ベスコロファイラーHG・ベスコロファイラーCOOL共通]

- 洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、粘土瓦(いし瓦、釉薬瓦など)には使用しないでください。
 - 素地調整は入念に行ない、十分に乾燥させてください。素地調整及び乾燥が不十分な状態で塗膜をしますと、膨れ、はがれ、割れなどの原因になります。
 - 屋根材の既存塗膜の劣化が著しい場合や素地表面が露出し、ぜい弱な場合は、塗替え塗膜の剥離の原因となる可能性があるため、塗替えは避け、屋根材の貼替えをお奨めします。
 - 気温5℃以下、湿度85%以上または結露が懸念される場合は塗装を避けてください。
 - 強風時や降雨・降雪のおそれがある場合は塗装を避けてください。
 - 水洗時の屋根は、滑りやすいので元元にご注意ください。
 - 水性ベスコロ下塗り及びベスコロファイラーシリーズ、カチオン系シーラー、ラフトンカチオンファイラーはカチオン系ですので、一般塗料と絶対に混ぜないでください。また、一般水系塗料に用いたはけ塗りなどの塗装器具を共用されますと固まる場合がありますので避けてください。
 - セメント系の屋根材(化粧スレート瓦)で素地への吸い込みが多い箇所は、下塗り(ワイドシーラー-EPO又は水性ベスコロ下塗り)を増し塗りしてください。また、下塗り乾燥後に、ガムテープで基材表面の剥がれがないかを確認し、剥がれがある場合は、基材表面のぜい弱層を除去し、下塗りを再塗装してください。
 - エアレス塗装の場合、エアレス機の中に塗料や洗浄用溶剤が残っていると詰まりが生じますので、予め水をよく通してからご使用ください。
 - エアレス塗装の場合は、周囲への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
 - 使用前に十分攪拌し、均一にしてから塗装してください。

- 2液形塗料は、主剤・硬化剤を正確に計量混合し、均一にしてから塗装してください。また、可成り時間内に使用してください。うすすぎは、たるみ、厚み不足、つや不良、色相の変化などを生じますのでご注意ください。
 - 仕様の各数値は、標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
 - 各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
 - 上塗りの最終養生時間(24時間以上)は厳守してください。乾燥過程で雨がかりますと、本来の塗膜性能が得られませんので、養生シートなどで適切な処置をしてください。
 - 塗膜乾燥初期の降雨により、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所での泡の発生、COD値上昇の可能性がります。雨水が河川に流入する恐れがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
 - 低温または高湿度などの気象条件下では、塗膜の乾燥が遅れるため、降雨の影響を受けやすい施工計画を立ててください。
 - 被塗物の形状、膜厚、色目、塗装回数、希釈率によりつやが異なって見える場合がありますのでご了承ください。施工前必ず試し塗りをし、つや等の仕上りを確認し、本施工を行ってください。
 - 化粧スレート瓦で、上下の板の重なり部にすき間が少ない場合は、塗装前にスパーサー部材(スパーサーなど)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にやむを得ずスプスなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。
 - 塗膜上に鳥の糞、砂、泥、有機物(木の葉)、金属(くさ)などを放置すると、塗膜の変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。
 - 常時、高温・高湿度になる箇所や、酸性・アルカリ性物質が当たる箇所は劣化が早くなる可能性があります。

- 塗装上の注意事項**

 - 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - 防護マスク・顔中保護めがね・長袖の作業衣・スリッパ・保護手袋・雨具など
 - 容器から取り出す時、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
 - 皮膚に付着した場合は、直ちに多量の石鹸水で洗い落とす。痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
 - 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所へ安静にし、医師の診察を受けてください。
 - 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

取扱い上の注意事項

 - 取扱い後は、手洗いがいらい鼻孔洗浄を十分に行ってください。
 - 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。(雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など)
 - 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。
 - 製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読みいただき正しく安全にご使用ください。特に引火及び有毒の危険性がある製品は、十分注意し、安全対策を行ってください。
 - 詳細な内容が必要なときは、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 ☎510-0101 三重県四日市市桶町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
 研究開発本部 ☎510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
 九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

